



渡部 寛一 議員

問 2010年度国保税収率を89.9%しか見込めない実態だ。その根本に高すぎる国保税がある。

答 4人家族合計所得300万円に対して、38万円もの国保税になる。払える水準を超えていると思うが見解を伺う。

問 国保税が高い最大の原因は、国にある。国保に対する国庫負担の割合は、1984年には50%だったのが、2007年度は25%まで下がっている。この間、1人あたりの保険税が2倍に国庫負担を

国民健康保険税の引き下げを

大幅に増額するように強く求めていくべきと思うが見解を伺う。

答 県、全国市長会を通じて、国に負担増を求めていく。

問 市独自の国保税引き下げ緊急対応が必要である。

答 09年度国保会計剰余金は全額10年度減税に回すべきである。更に、ため込んである基金を取崩し、また一般



国保税納税通知書と保険証等

会計から繰入れての減税をする必要があると思うが見解を伺う。

答 剰余金が出れば減税に回したい。

問 市国保税減免取扱要綱に該当したのは、ここ2年間で火災を受けた2件しかない。生活困窮者が活用できる要綱に改めるか伺う。

答 積極的活用方法を講じて行きたい。

ちょっとホンネ

「国保会計の健全財政」と言うが、市民の家計は『不健全財政』になっているんです。

その他の質問

1 国保資格証発行をなくせ

2 中学卒業まで医療費無料化はいつから

3 環状1号線事業の見直し・取り止めを



小林 正幸 議員

問 県と連携しながら定住、二地域居住の推進体制を強化し、交流人口の拡大を図るべきと思うがどのような取り組みをするのか伺う。

答 昨年12月15日に道の駅みなみそうま内に「南相馬市ふるさと回帰支援センター」を開設。市内関係機関、団体等で組織する運営委員会により各種情報の発信を行っている。

問 市長は、「定住人口の拡大」を図るために、本市への移住者を獲得するため、税負担の軽減などの支援制度の創設を検討するということ考えについて伺う。

答 移住にかかる各種負担のサポートをすることが考えられる。



双葉町役場ホームページより

る。今後施策の中で精査していく。

問 双葉町においても人口の増加と定住促進を図るため、住宅建設とその土地に係わる固定資産税の軽減、出産祝い金として第2子15万円、第3子以降20万円などの施策をとっている。本市においても思い切った施策をすべきと思うが伺う。

移住、二地域居住推進について

答 本市において、定住人口をどうやって確保するか施策の命題となっている。税等の負担の軽減など視野において今後、県や各関係機関との連携を強化し宿泊体験事業の実施や、田舎体験メニューの開発を行い、交流人口の拡大に取り組んでいく。

ちょっとホンネ

本市の人口、今年度中に6万人台？どこまで続く人口減！対策が急務である。

その他の質問

1 企業進出にともなう従業員の住居対策

2 観光客に対する宿泊支援について

3 建築設計の地元業者優先の発注について

地域医療のあり方について



鈴木 昌一 議員

問 市立病院改革プランでは、市立総合病院は地域の中核的医療機関として、また小高病院は在宅医療と施設介護の中間的機能を担うとされている。しかし、両市立病院の経営の効率化を図ると同時に、限られた医療資源の有効活用の観点から、両病院の医局を統合するべきではないか伺う。

答 医局を統合する考えは現在ないが、医療統合については検討中である。

問 地域完結型の医療提供体制を構築するために、地域医療機関との連携と機能分担にどのように取り組むのか。

答 従来の夜間小児救急事業や、医療機器の



南相馬市立総合病院

問 相双医療圏において、早期に整備が望まれている。地域周産期母子医療センター設置という公約実現に、どう取り組むのか伺う。

答 周産期医療は、県内他地区に頼らざるを得ない現状を、一刻も早く解消しなければならぬと認識している。設置に向け、県への働きかけを強めると同時に、広域市町村圏、とりわけ相馬公立総合病院の設置者である相馬市長との折衝が不可欠であり、機会を捉えて協議に入りたい。



小川 尚一 議員

問 医師確保に向けての地道な取り組みを、性感染症防止への啓発活動強化の必要性、子宮頸がん予防ワクチンの公費助成の件

ちょっとホンネ
南相馬市は、公立病院と民間医療機関との連携を密にし、地域づくりに活かす試みを！

問 私ですが、これまで唄ってきた株式会社南相馬市役所とは、民間経営の視点と、市民サービス向上というお客様志向に意識改革することである。具体的な取り組みについて伺う。

答 職員には、市民はお客様という意識での接客や、市民が株主との視点での意識改革が必要と考える。接遇は、市民サービスの基本であり、民間企業への派遣も視野に接遇研修を取り入れ、職員提案制度を創設し、効率的で常に工夫改善を意識する職場作りを進める。

問 大甕産廃処分場の発掘同意書が未添付であり書類を提出者に返送したが、2月24日に現場で発掘作業が確認されている。県は、無届であると指導している。

答 県は、土地所有者の発掘同意書が未添付であり書類を提出者に返送したが、2月24日に現場で発掘作業が確認されている。県は、無届であると指導している。



大甕産廃処分場

ちょっとホンネ
「受次ぎて国の司の身となれば忘るまじきは民の父母」上杉鷹山が家督相続で詠んだ歌。

問 協定に基づく設計変更のスケジュールについて伺う。

答 中間処理施設設計変更について、県相双振興局との事前協議がされていないので、平成22年2月26日付で、工程表を3月8日まで提出するよう通告したが、現在提出されていない。

株式会社南相馬市役所の実現を